

新医薬品が薬価収載されましたのでお知らせいたします。

番号	薬効分類	区分	商品名	規格単位	薬価	包装単位	製造販売	成分名	効能・効果	用法・用量	規制等	承認年月日	備考
1	119	内用薬	レイボー錠50mg	50mg1錠	324.70円	30錠 [10錠 (PTP) ×3]	日本イーライリリー	ラスミジタン コハク酸塩	片頭痛	通常、成人にはラスミジタンとして1回100mgを片頭痛発作時に経口投与する。ただし、患者の状態に応じて1回50mg又は200mgを投与することができる。頭痛の消失後に再発した場合は、24時間あたりの総投与量が200mgを超えない範囲で再投与できる。	劇、処方	R4.1.20	新有効成分
			レイボー錠100mg	100mg1錠	570.90円	30錠 [10錠 (PTP) ×3]							
2	229	内用薬	リフヌア錠45mg	45mg1錠	203.20円	100錠 [10錠 (PTP) ×10]	MSD	ゲーファピキサントクエン酸塩	難治性の慢性咳嗽	通常、成人にはゲーファピキサントとして1回45mgを1日2回経口投与する。	処方	R4.1.20	新有効成分
3	429	内用薬	ルマケラス錠120mg	120mg1錠	4204.30円	56錠 [8錠 (PTP) ×7]	アムジェン	ソトラシブ	がん化学療法後に増悪したKRAS G12C変異陽性の切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌	通常、成人にはソトラシブとして960mgを1日1回経口投与する。なお、患者の状態により適宜減量する。	劇、処方	R4.1.20	新有効成分
4	219	注射薬	ビヴラツ点滴静注液 150mg	150mg6mL1瓶	80,596円	6mLバイアル×10本	イドルシア ファーマ シューティカル スジャパン	クラソゼンタ ンナトリウム	脳動脈瘤によるくも膜下出血術後の脳血管 攣縮、及びこれに伴う脳梗塞及び脳虚血症 状の発症抑制	通常成人には、クラソゼンタとして300mg（12mL）を生理食塩液500mLに加え、容量型の持続注入ポンプを用いて、17mL/時の速度で静脈内に持続投与する（クラソゼンタとして10mg/時）。くも膜下出血術後早期に本剤の投与を開始し、くも膜下出血発症15日目まで投与する。なお、肝機能、併用薬に応じて適宜減量する。	劇、処方	R4.1.20	新有効成分
5	241	注射薬	エヌジェンラ皮下注24mg ペン	24mg1.2mL1キット	43,032円	1筒	ファイザー	ソムアトロゴン (遺伝子組 換え)	骨端線閉鎖を伴わない成長ホルモン分泌不 全性低身長症	通常、ソムアトロゴン（遺伝子組換え）として0.66mg/kgを1週間に1回皮下投与する。	生物、処 方	R4.1.20	新有効成分
			エヌジェンラ皮下注60mg ペン	60mg1.2mL1キット	107,580円	1筒							
6	399	注射薬	ピンゼレックス皮下注 160mgオートインジェク ター	160mg1mL1キット	156,820円	1.0 mL [1本]	コーシービー ジャパン	ピメキズマブ (遺伝子組換 え)	既存治療で効果不十分な下記疾患 尋常性乾癬、膿疱性乾癬、乾癬性紅皮症	通常、成人にはピメキズマブ（遺伝子組換え）として、1回320mgを初回から16週までは4週間隔で皮下注射し、以降は8週間隔で皮下注射する。なお、患者の状態に応じて16週以降も4週間隔で皮下注射できる。	生物、 劇、処方	R4.1.20	新有効成分
			ピンゼレックス皮下注 160mgシリンジ	160mg1mL1筒	156,587円	1.0 mL [1本]							
7	639	注射薬	ウィフガート点滴静注400 mg	400mg20mL1瓶	421,455円	1バイアル	アルジェニク スジャパン	エフガルチギ モド アル ファ (遺伝子 組換え)	全身型重症筋無力症（ステロイド剤又はス テロイド剤以外の免疫抑制剤が十分に奏効 しない場合に限り)	通常、成人にはエフガルチギモド アルファ（遺伝子組換え）として1回10mg/kgを1週 間間隔で4回1時間かけて点滴静注する。これを1サイクルとして、投与を繰り返す。	生物、 劇、処方	R4.1.20	新有効成分
8	125	外用薬	ラビフォートワイブ2.5%	2.5%2.5g1包	262.00円	アルミパウチ：1包×28	マルホ	グリコピロニ ウムトシル酸 塩水和物	原発性腋窩多汗症	1日1回、1包に封入されている不織布1枚を用いて薬液を両腋窩に塗布する。	処方	R4.1.20	新有効成分
9	490		アベクマ点滴静注	1患者当たり	32,647.761円	-	プリストル・ マイヤーズ ス クイブ	イデカブタゲ ンピクルユー セル	再発又は難治性の多発性骨髄腫。ただし、 以下のいずれも満たす場合に限り。 ・BCMA抗原を標的としたキメラ抗原受容体 発現T細胞輸注療法の治療歴がない ・免疫調節薬、プロテアソーム阻害剤及び抗 CD38モノクローナル抗体製剤を含む3つ以 上の前治療歴を有し、かつ、直近の前治療 に対して病勢進行が認められた又は治療後 に再発した	投与直前に本品を解凍する。通常、成人には、CAR発現T細胞として、体重を問わず目標投与 数450×10 <sup>6</sup> 個を、10mL/分を超えない速度で単回静脈内投与する。なお、CAR発現T細胞と して280×10 <sup>6</sup> ～540×10 <sup>6</sup> 個の範囲で投与できる。本品の再投与はしないこと。		R4.1.20	新再生医療等製 品

- ・薬価については官報をご確認下さい。
- ・承認段階の情報につきましては、適宜、日本薬剤師会雑誌の日薬医薬品情報に掲載しておりますのでご参照下さい。
- ・承認に関する情報は「医薬品医療機器情報提供ホームページ」の新薬の承認に関する情報もご参照下さい。
- ・医薬品薬価マスターに関する情報は「診療報酬情報提供サービス」をご参照下さい。
- ・医薬品コードに関する情報は「薬価基準収載医薬品コード表(MEDIS-DC提供)」をご参照下さい。